

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

早く一人前になりたい人集まれ! でも研修は「広くて深い」

## ● 診療科の紹介 ●

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では聴覚、嗅覚、味覚、嚥下、発声など人間が人間らしく生きる上で最も基本的で重要な機能を扱っています。また、耳下腺・顎下腺・甲状腺疾患、さらには頭頸部癌の診断治療も専門とします。内科的、外科的側面の両面からアプローチできる科であり、先天性難聴や突発性難聴などの聴覚障害、めまい平衡障害、花粉症をはじめとする免疫アレルギー疾患などの内科的な加療を行う一方、中耳手術をはじめとするマイクロサージェリー、鼻副鼻腔の内視鏡手術、音声改善手術などの精密な手術や、頭頸部腫瘍の手術などの様々な外科的治療も行っています。疾患や手技も多岐にわたるため、自分の興味や体力、能力に応じて自分に適した分野を見つける事ができます。

外科系のなかでの特徴としては、早期より手術の執刀経験を積める事です。鼓膜チューブ留置術や口蓋扁桃摘出術、気管切開術など耳鼻科基本手術は1年目より術者として執刀することができます。また、顕微鏡や内視鏡を使用する手術は高齢になっても可能であり、外科医としての寿命も長いといえます。

## ● 専門研修プログラムの特徴 ●

「うどん県耳鼻咽喉科専門研修プログラム」では、基幹病院基幹研修施設である香川大学病院を必須選択として、A病院群(香川県立中央病院、高松赤十字病院)、B病院群(坂田市立病院、高松市立みんなの病院、屋島総合病院、香川労災病院、小豆島中央病院、三豊総合病院)、関連施設(さめき市民病院)の8関連研修施設において、専攻医の希望も勘案してA病院群、B病院群、関連施設から選択し、それぞれの特徴を生かした耳鼻咽喉科研修を行い、日耳鼻研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術を経験する。基幹研修施設では専門外来を設置しており(腫瘍、鼻、耳、幼児難聴、音声・嚥下障害、めまい)、偏りのない医療を学ぶ事ができる。

## ● 研修に関する行事 ●

総回診、腫瘍回診、術前・術後カンファレンス、各専門領域カンファレンス(耳・鼻・音声嚥下)、Tumor Board  
4年間の研修中:学会発表-3回 論文執筆・公表-1編(筆頭著者)

## ● 取得できる専門医資格および技能 ●

- 日本専門医機構認定耳鼻咽喉科専門医
- 頭頸部外科学会頭頸部がん専門医
- 気管食道科専門医
- 日本アレルギー学会専門医
- がん治療認定医機構がん治療認定医
- めまい平衡医学会認定専門会員
- めまい相談医
- 補聴器相談医
- 嚥下相談医
- 耳科手術指導医
- 鼻科手術指導医

